

平成 29 年度 障害当事者部会の活動について

◆実施状況

第 4 回（平成 30 年 1 月 15 日）…座談会形式

文京区総合福祉センターまつりの振返りについて、ヘルプマークについての意見交換
他当事者部会委員との交流

◆内容

○文京区総合福祉センターまつりの振返りについて

- ・当事者部会コーナーへの来場者の正確な人数把握ができていなかったため、次年度は来場者のカウントができると良いだろう。（大よそ 20 名前後か）
- ・全体を通して準備は大変であった。特に、取組みの方向性を決めるまでに時間を要した。
- ・来場者とのふれあいで障害の啓発活動はできた。身体、知的、精神障害の 3 障害の当事者委員が参加できたことも良かった点であった。
- ・祭りにて当事者部会の広報を行うという今回の目的に関しては、来場者の方とのかかわりを通して達成感があった。様々な方と交流できる良い機会となった。
- ・今回は当事者委員が主体的に動くというのが目標の一つでもあったが、委員同士の連絡網がなかったため事務局を通して連絡や調整を行うことが多かった。1 から作り上げていく難しさはあったが、連絡、調整、企画等をもう少し当事者委員で主体性を持って行っていけると良かったのではないかな。
- ・次年度の当事者委員の下命事項も含めて、福祉センター祭りへの参加を考えていきたい。
- ・次年度も福祉センター祭りに参加するのであれば、もう少し早い時期から部会内で打ち合わせを始め、準備を進めていけると良い。

○ヘルプマークについての意見交換

- ・ヘルプマークはまだあまり周知されていないが、障害者自身も積極的に発信していくことが大切である。
- ・ヘルプマークへの関心や認知度が高まることで、助けを求める時も声をかけやすい環境になってほしい。
- ・ヘルプマークをつけることに対して、「はずかしい」といった感情を抱く人もいる。家の近くでは外しているという声もある。また、ヘルプマークには抵抗がある方でもヘルプカードは持っているという方もいる。使い方、ヘルプマークへの捉え方は様々である。
- ・障害やヘルプマークのことを、学校教育等でも積極的に取り上げてほしい。
また、子供達にヘルプマークを周知することで、親へもヘルプマークの理解が広がっていくのではないかな。
- ・ヘルプマークをつけている方を見かけた際は、思いやりの気持ちを持って接してほしい。
- ・ヘルプマークをつけていることで、ヘルプマークの存在を知らなかった人にも関心を持ってもらえたり、コミュニケーションを取るきっかけになることもある。

・他当事者部会委員との交流

- ・当日他専門部会の当事者委員の方々の方が 3 名参加。他部会当事者委員と障害当事者部会委員との交流を通して、関係作りや他専門部会内容の情報共有を図る。

◆実施状況

第5回（平成30年3月8日）…会議形式

広報誌配布による反響について、今任期の総括、振り返り、時期に託したいこと

◆内容

・ 広報誌配布による反響について

- ・ 事務局にて配布先機関 12 か所に広報誌の反響について聞き取りを行った。ポジティブな反響(活動内容がわかる、自分も参加したいなど)もあったが、反面今後の課題(特に反応がない、見ていないなど)と思われる声もあった。あまり広報誌が障害当事者に届いていないかもしれない。
- ・ 利用している施設で広報誌を掲示してもらい、利用者に「見て下さい。」と声掛けしてみた。関心を持ってくれた方もいたが、ただ掲示してあるだけだと、誰も見てくれなかったかもしれない。
- ・ 配布しただけだと、見てもらうのは難しいかもしれない。広報誌を見てもらうこと、見てもらう方法を考えていくというのは今後の課題かもしれない。
- ・ 広報誌を作ったほうが当事者部会の内容が伝わると思う。来年度も作りたい。
- ・ 内容についても、もう少し考えていきたい。
- ・ 来年度も発行に向けて準備していく。来年度1回目の障害当事者部会にて詳細を検討していく。

・ 今任期の総括、振り返り、時期に託したいこと

【振り返り内容】

- ・ 文京総合福祉センター祭りに参加できたことが大きな出来事だったと思う。
- ・ 総合福祉センター祭りが楽しかった。お祭りの準備が大変だった。
- ・ 自分の知らなかったことも知れたので参加できてよかった。初めてこのような場に参加したのだが、色々な人とも交流が出来たし嬉しかった。
- ・ 自分はこんな部分で困っているとか、それに対して自分は“このように考えている”とか“このように対処している”とか発信できればよかった。また総合福祉センター祭りに参加できて楽しかった。お祭りの準備もそれほど負担ではなかった。

【次期に託したいこと】

- ・ またお祭りに参加したい。
- ・ 一緒にどこかに参加してみるのもいいかもしれない。例えば他区の当事者部会に傍聴に行く、イベントに参加してみる、野球を観に行く等。
- ・ 今年度は祭り参加の準備で部会の時間が多く費やされてしまった。もし来年度も祭りに参加していくのであれば、祭りの準備は他に時間を取って検討し、部会では決まったことを報告する形にしたい。その時間で他のことを話し合う時間を確保し、生活上で何か困っていることとかテーマを決めて話し合うなどしていきたい。
- ・ ポケットティッシュを配布して当事者部会を宣伝したい。
- ・ インターネットを利用して(ブログや SNS など)、部会委員同士のコミュニケーションを取っていったり、興味のある方々に発信などしていきたい。